

(仮称) 道の駅「くまがや」基本計画(案)に対する意見及び市の考え方

1 意見募集期間

令和元年5月23日(木曜日)から令和元年6月12日(水曜日)まで

2 意見の提出者数及び意見の件数

提出者数 6名

意見の件数 16件

3 意見の概要と市の考え方

該当箇所	意見の概要	市の考え方
2.2.5 歴史・文化	観光客誘致のため、「熊谷うちわ祭」の歴史の追記が必要。 2.2.8 観光で記述があるものの、熊谷市以外からの観光誘致には、成功していない様に感じる。	熊谷うちわ祭は重要な地域資源の一つと考えており、今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、効果的なPR手法を検討いたします。 なお、該当箇所は、食に関する内容に絞ってまとめているため、原案のままとします。
4.4 熊谷流の農業・食文化	インスタ映えする洋菓子店の食べ歩きコーナーの設置、ニオイによる集客が期待できるホルモン焼肉やヤキトリを提供してはどうか。	今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、集客につながる提供メニュー等を検討いたします。
5. 道の駅に求められる機能・施設	24時間不特定多数の人々が利用する場所には、ペットの連れ込みも想定した上で、環境衛生技術を導入してほしい。	今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、環境衛生対策について検討いたします。
5. 道の駅に求められる機能・施設	地元の調理師専門学校生との連携や栄養士による健康講座の開催等の場にも利用できる、見て話せて食べられるキッチン(ライブキッチン)を、直売所内に作ってほしい。	“食”のテーマパークの形成を目指しており、今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、食に関する地元との連携や導入施設等について検討いたします。

5. 道の駅に求められる機能・施設	熊谷市の素敵な会社や美味しいお店、またこれからお店を出したい方のため、PR 出来る場所があれば嬉しい。	市内飲食店等の本市の魅力を発信することも重要な役割と考えており、今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、PR や地域交流の場について検討いたします。
5. 道の駅に求められる機能・施設	川場田園プラザ、太田市美術館図書館、箱根彫刻の森美術館（足湯スポット）、ハルニレテラスを参考にしてほしい。	今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、導入施設等について検討いたします。
5. 道の駅に求められる機能・施設	<p>(屋内)</p> <p>室内の遊べるマットスペース、遊具(子供向け)、図書館、熊谷のグッズ、雑貨、物産・名産、コーヒーショップ、ベーカリー、甘味処、野菜屋</p> <p>(屋外)</p> <p>お花見スポット(四季折々の花々)、BBQ スポット、足湯スポット、ミニ観覧車やメリーゴーラウンド(ハイウェイオアシスららん藤岡のような)、ワークショップ・イベント(ショー)スペース、小川、噴水、水遊びスポット(子供向け)、日陰・木陰の休憩スペース、リサイクル・エコなスポット、イルミネーション、大型車などの専用駐車場、休憩スペース</p>	今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、導入施設等について検討いたします。
5.3.2 熊谷の魅力を発信する機能 (2) 情報発信・広報機能	熊谷市の紹介コーナーで、VRを活用するなどした「熊谷うちわ祭」のお囃子体験を入れてほしい。	VR(バーチャルリアリティ)技術等の先進技術によるサービスは検討項目の一つと捉えており、今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、効果的な情報発信手法を検討いたします。

<p>5.3.3 住民や来訪者を元気にする機能 (3) 交通機能</p>	<p>「ゆうゆうバス」について増便して路線変更をするか、代わりに「ゆうゆうバス」を廃止して高齢者免許返納事業としてミニバン乗合タクシーを導入してはどうか。</p>	<p>開業後における来訪者の利用交通の状況等を勘案しつつ、御意見を参考にしながら、関係主体等と連携・調整し、効果的な交通環境について検討いたします。</p>
<p>5.4 防災拠点機能</p>	<p>駐車場を緊急時にヘリポートとして利用が可能になる様に設定・申請し、災害時の近辺病院等のヘリポートとして利用出来るようにしてほしい。</p>	<p>災害時の臨時ヘリポートを持つ埼玉県が管理する熊谷スポーツ文化公園との連携も視野に、今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、防災拠点としての位置付け等について検討いたします。</p>
<p>5.4 防災拠点機能</p>	<p>避難所としての防災設備には環境衛生対策を導入してほしい。</p>	<p>今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、環境衛生対策について検討いたします。</p>
<p>7.2 施設配置計画 図 7-1 施設配置計画</p>	<p>国道 17 号バイパスや 125 号から直接道の駅に入ることができず、隣接する道路を通る形になって入りづらいため、動線上ボトルネックになると思われる。</p>	<p>前面の国道は交通量が多く、車の速度も速いため、道の駅に直接出入りできるようにすると、出入りの際に事故の発生につながる危険性があることから、このような施設配置としております。</p>
<p>7.2 施設配置計画 図 7-1 施設配置計画</p>	<p>交通の円滑性や事故防止のため、道の駅の出入口に面する道路の南東部を緩やかなカーブにした方がよい。 また、国道 125 号からの入場の際に必ず右折を伴い利便性の低下や道路の渋滞を招くため、駐車場を道路の対岸(南東側)との 2 つに分けたほうがよい。</p>	<p>事業地内の道路や駐車場の配置については、ほ場整備事業により創出される道の駅等の敷地区域が決まっていることや、前面道路の国道の交差点位置等により制限される状況にあります。この様な中で、敷地を最大限活用しつつ、来訪者の利用しやすさや安全性などに配慮し、施設配置の計画をしております。今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、交通の円滑性や安全性などについてより詳細に検討いたします。</p>

<p>9. 事業手法の概略検討</p> <p>10. 実現化方策の検討</p>	<p>検討段階だからできないのかもしれないが、三セク、PFI等事業の費用（用地買収も含め）と収益の概算もできないのでしょうか？</p>	<p>今後、詳細な条件設定のもとでPFI等の官民連携事業手法の検討を行う中で、事業期間を通じた公的財政負担額等について、精度を高めて算出いたします。</p>
<p>全体</p>	<p>営業時間を過ぎると途端に残念な空間になる道の駅が多いため、無人でも雰囲気の良い安全な空間を目指す思想でデザインしてほしい。</p>	<p>今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中で、御意見を参考にしながら、営業時間後の空間にも配慮したデザインについて検討いたします。</p>
<p>全体</p>	<p>既にある道の駅めぬまに関する記載がない。新設する道の駅を考える上で非常に良い参考になると思われる。</p>	<p>既存の道の駅に関する状況等は、新たな道の駅を検討する上で、重要であると考えており、検討にあたっては、道の駅めぬまを含めた近隣の道の駅等へのアンケートにより、施設の問題点や課題等の傾向を把握し、これを反映した検討を行っております。今後、具体的な事業内容の検討を進めていく中でも、配慮しながら検討いたします。</p>